

令和４年度幼稚園学校評価（出雲市立遙堪幼稚園）

分野	評価項目	評価の着眼点	自己評価		学校関係者評価	評価結果を踏まえた今後の取り組み
			達成及び取組状況	評価	評価	
教育課程・指導	①学年・学級経営	教職員は、教育目標の達成を目指した学級経営を行っているか。	引き続きコロナ禍を十分に配慮しながら、担任は園の特色や教育目標、めざす園児の姿から学級経営案を作成し、その目標達成のために毎月ごとの指導計画を作成し保育を行っている。また、毎月・学期ごとに反省し、来学期に向けての方策も考えている。	3	3	育みたい園児の姿を全職員で共有し、共通理解のもと保育にあたっていきたい。 引き続き、月ごと・学期ごとの指導計画に沿って保育にあたり、PDCAサイクルを重視し、改善に一層取り組みたい。
	②幼児理解	教職員は、一人一人の幼児の発達の姿から課題を捉えて保育を行っているか。	各担任は園児一人一人の興味や関心、情緒の安定、生活習慣発達の姿を記録し、園児の育ちや課題等を捉え、保育にあたった。また、職員全員でしっかりと捉え、共通理解を図った。保護者に成長の姿や願いを伝えるときに、子育ての喜びや悩み、不安に共感し、連携に努めた。 保護者アンケートの肯定的評価が100%だった。	4	4	勤務時間の関係で、職員会議において全員で『子どもを語る会』を行い、園児の様子について情報交換をうことは難しい。普段から情報交換をし、全園児を全職員で保育していきたい。 また、送迎時の会話を大切にしていきたい。
	③特別支援教育	特別な支援を必要とする幼児の実態や課題を明確にし、計画的・組織的に指導を行っているか。	特別支援補助教諭と支援方法を理解し合って遊びを広めたり、深めたりしていくための話し合いは時間内では十分でなかった。 家庭との連携や巡回相談、関係機関との連携を通して、園児の特性の理解や支援の在り方、保護者の思いを共有し、支援にあたっている。	3	3	職員全員で園児の情報を共有し、計画的・組織的な支援を行う。また、定期的に支援会議を行い、関係諸機関とも連携を図りながら支援にあたりたい。 就学に向け小学校とも連携し、園児の様子を観に来てもらったり、情報を交換したりしていきたい。
	④人権・同和教育	教職員は、自らの人権感覚を磨き、幼児に人権意識の芽生えを培うように配慮しているか。	人権・同和教育を全ての教育活動の基底に据え、どの子にとっても気持ちのよい居場所となるように支持的風土のある温かい学級経営を心掛けた。 人権同和教育研修に参加したり、男女共同参画についての職場研修を行ったりして、人権感覚を見つめ直した。	3	3	積極的に研修会に参加したり、園内研修会を開催したりし、職員の人権感覚の向上をはかっていきたい。 保護者研修会を開催したり、たより等を通して保護者への啓発活動に努めたりし、保護者とともに人権・同和教育について考えていきたい。
	⑤行事	教職員は、行事を幼児の発達を促す機会と捉え、工夫、改善しているか。	引き続きコロナ禍ではあったが、感染予防に配慮しながら、目園の実態に合せ内容や運営を工夫しながら行った。 合同体育会や生活発表会では、子どもたちが主体的に楽しく活動できるように、日々の生活や遊びに基づいた活動を工夫し達成感を味わうことができるようにした。 保護者アンケートの肯定的評価が100%だった。	4	4	コロナ禍においても、保護者からは行事や活動が工夫されていると肯定的評価をいただいた。さらに、子どもたちの実態を見極め、行事を通して何を体験させ何を育てたいかをしっかりと考え計画・実施をしていきたい。 小規模園のよさや課題を明確にしながら、保護者とも連携し、計画していきたい。
	⑥保幼小連携	近隣の小学校等との連携を密にし、なめらかな接続に努めているか。	コロナ禍であったが、5年生と「泥んこ遊び」「田植え」「稲刈り」の交流を3年ぶりに行った。お兄さんお姉さんとの温かな交流が園児の楽しい思い出になった。 普段から、隣接しているので、小学生が行う一輪車、縄跳び、校内マラソンなどが園児の刺激になり、一生懸命に取り組む姿が見られた。	4	4	遙堪小学校5年生との交流は幼稚園児にとって非常によかった。来年度も引き続き実施の方向で検討したい。 大社町内の6幼稚園のサツマイモ掘りの交流や3幼稚園によるスポーツフェスティバルでの交流ができた。小学校就学に向けて今後も交流を模索していきたい。
家庭・地域との連携	⑦家庭・地域との連携	幼稚園と保護者、幼稚園と地域（未就園児等）との協力関係はできているか。	保護者との連携については、普段は「連絡ノート」や送迎時の会話、また、定期的な個人懇談等で相互に情報交換し園児理解に努め指導に活かすようにした。 地域との交流は、昨年度と比べ、工夫しながらできる範囲で実施し、園児の心身、情緒面の発達を助長する体験活動となった。 保護者アンケートの肯定的評価が100%だった	4	4	引き続きコロナ禍ではあったが、安全面に配慮し少しずつ、地域の方々との交流ができた。来年度も地域の方々と連携した活動を可能な範囲で計画的に実施したい。 保護者とも連携して園行事やPTA研修など、見直しを図りながら継続していきたい。
研修	⑧研究・研修	教職員一人一人が、園内外の研究・研修の機会を自己研鑽の場として受け止め、進んで研究・研修に取り組んでいるか。	出雲市幼稚園教育研究会が行う他園の研究発表会や保育幼稚園課が行う研修会、人権・同和教育研修会等に職員が参加し、研修できたことは有意義であった。 全職員で取り組んでいく研究であるが、園内研究が十分にできなかった。	3	3	教育の質の向上に向け、年度当初に計画を立て、園内研修を実施し、教職員の専門性を高め、保育内容の改善・工夫について実践を重ねていく。 園外の研修に積極的に参加し、自己研鑽に努めるとともに、事後に研修報告をし、職員に伝達する。
組織運営	⑨園務	教職員は、他教職員と協働し、計画的に園務を遂行しているか。	園児一人一人の自己実現に向けて、職員一人一人のよさを活かし、職員間の連携が深まる体制づくりに努め、合意形成を図りながら、計画的・組織的に園務を遂行することができた。 本年度から朝礼を行い保育における情報共有を丁寧に行い、互いの思いを尊重しながら協働して園務を行った。	4	4	一人一人が率先して職場の意思疎通を高め、コミュニケーションの促進を図り、子ども一人一人の自己実現のために活性化や雰囲気づくりに努めていきたい。 職員会議で計画を練り、共通理解を図った上で、分担しながら進められるようにしていく。
安全管理・保健管理	⑩危機管理	園の危機管理及び幼児の安全や衛生の管理体制を全教職員が理解し、適切な対応に努めているか。	新型コロナウィルス感染防止のため、引き続き、毎日の体温等のチェックやこまめな手洗い、アルコールによる手指消毒、机・椅子・ドアノブ等の園児が触れるところの除菌を定期的に行った。また、交通安全教室・避難訓練・防犯教室・不審者侵入訓練・豪雨時の引き渡し訓練を実施した。 保護者アンケートの肯定的評価が100%だった。	4	4	今後もコロナ禍が心配される。引き続き新型コロナウィルス感染防止対策をしっかりと行っていきたい。 園児の命を守ることの重要性を再認識し、工夫を凝らしながら繰り返し指導をしていきたい。また、緊急時には速やかにメールを配信し、保護者に状況や対応を周知したい。
教育環境整備	⑪園地・園舎・遊具等の施設・整備	園地・園舎・遊具等の施設・設備を定期的に点検し、必要な改善・管理を行っているか。	毎月月初めに「安全点検の日」を設定し、危険個所の洗い出しと速やかな修繕を行っている。 使用禁止になっていた滑り台が修理され使用できるようになった。 園舎の老朽化により営繕が必要な箇所があるが、なかなか修繕されないのが現状である。	3	3	施設設備、教育環境の定期的な安全点検を行い、改善や修繕の必要な箇所は迅速に関係機関と連携をとって対応する。 職員が、園児の安心安全への意識を高め、手洗い場や机椅子の配置、教材教具の配置など、自分なりの点検個所を設定し、毎日確認しながら生活する。

※評価基準 4：十分達成している 3：概ね達成している 2：改善を要する部分がある 1：大いに改善を要する